

モンタナ州：小麦作柄と気象状況

2003年9月2日

2003年8月31日現在：

前週も平年以上の気温が続いた。南東地区の一部に降雨があったが殆どの地区に観測所でゼロインチに記録であった。70日以上降水が記録されていない地域も存在する。土壌水分は更に悪化し、2004年産冬小麦の播種の前に降雨が望まれている。

7月と8月の高温・乾燥気象は極めて早いペースで春小麦は登熟し、主たる産地での収穫は8月末の段階で略終了した。8月31日現在99%の小麦が完熟し(昨年：75%、平年：88%)、92%が収穫された。小麦の生育に理想的な気象が6月まで続いたが、結果として特に春小麦は単位収量を落とし、同時に品質も劣化した。

8月1日付けUSDAの冬小麦収穫量予想では、単位収量は7月1日予想から変化がなかったが、春小麦の予想では5.0bu/acre減少し、24.0bu/acreなった。7月の高温・乾燥が単位収量を落とす結果となった。

土壌水分状況：

	This week	Last week	Last year	5-year Avg.
Topsoil (%)				
Very short	79	77	26	39
Short	20	20	35	40
Adequate	1	3	35	20
Surplus	0	0	4	1
Subsoil (%)				
Very short	70	69	39	41
Short	25	27	40	41
Adequate	5	4	21	18
Surplus	0	0	0	0

冬小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-year Ave.
Harvested (%)	98	94	87	92

次頁に続く：

春小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-year Ave.
Harvested (%)	92	78	41	69

Source: Montana Agricultural Statistics Service

モンタナ州小麦作付面積：USDA2003年3月1日発表

冬小麦の作付け増加と破棄圃場の減少見込みより、春小麦(HRS)の播種面積は減少すると見込まれた。

	Area Planted 1000 acres			
	2001 Crop	2002 Crop	2003 Crop	2003/2002
Winter wheat	1,300	1,450	1,850	128%
Durum wheat	510	590	600	102%
HRS wheat	3,550	3,750	3,100	83%

2003年8月1日付け農務省発表の冬、デュラム、硬質赤色春（HRS）小麦生産量予想：

	Area Harvested 1000 Acres		Yield Bushels/Acre			Production 1000 Bushels	
	2002	2003	2002	2003		2002	2003
				July 1	Aug 1		
Winter	750	1,750	28.0	37.0	37.0	21,000	64,750
Durum	565	640	23.0	29.0	25.0	12,995	16,000
HRS	3,450	2,800	22.0	29.0	24.0	75,900	67,200

当該作柄レポートに関するご質問、お問い合わせは下記宛てにお願い致します。
小川正晃：E-mail ogawa.max@omicnet.com